

「自動運転社会を見据えた都市づくりの在り方検討会」(第1回)  
議事要旨

■日 時：2019年11月14日(木)15時30分～17時00分

■場 所：東京都庁 第二本庁舎 31階 特別会議室 22

■出席者：委員16名、事務局 ※詳細は別紙参照

□主な意見

<検討の進め方について>

- 自動運転技術の普及により、何がどのように変わるのか、将来像を共有することが重要
- 自動運転社会がどのようにになるかの予測と、自動運転技術を活用してどのような社会にしたいかの目標に乖離がないかのチェックも重要
- 自動運転がどのように都市に普及していくか、将来のシナリオを複数設定し、ある程度の幅を持たせた検討が必要
- 今後の議論として、具体的な論点の整理や都が主体となる内容と民間主体で都が支援していく内容とを区別した整理が必要

<検討すべき項目について>

- 自動運転技術の普及により、路上での乗降や荷捌きについての駐停車空間の充実やルールの見直し求められるため、路上及び路外駐車場と自動運転車両の在り方の検討が必要
- 自動運転技術の普及は段階的に進むため、短期的な課題として、路上における有人走行と無人走行(レベル4以上)の共存方法の検討が必要
- 住宅地等における自動運転車両の通行可否や交通規制の区域を踏まえた地区交通の視点での検討が必要
- 乗務員の確保が難しくなっている自然環境共生域等において、フィーダーバスとしての自動運転の活用検討が必要
- 現在の自動運転は主に都市部での活用が検討されており、過疎地域についてもどのようなサービスが実現できるか検討が必要
- 自動運転技術の普及により、外出率の増加や鉄道から自動車への利用転換が考えられるが、これまでの公共交通を中心とした都市構造を守るため、過剰な自動運転車両の抑制の検討も必要

以 上

「自動運転社会を見据えた都市づくりの在り方検討会」(第1回)  
出席者名簿

- 座 長 森本章倫 早稲田大学 理工学術院教授
- 委 員 大沢昌玄 日本大学 理工学部教授
- 委 員 小嶋 文 埼玉大学大学院 理工学研究科准教授
- 委 員 東京都 政策企画局 技術政策調整担当部長
- 委 員 東京都 都民安全推進本部 治安対策担当部長
- 委 員 東京都 戦略政策情報推進本部 戦略事業担当部長 (代理)
- 委 員 東京都 都市整備局 都市づくり政策部長
- 委 員 東京都 都市整備局 局務担当部長
- 委 員 東京都 建設局 企画担当部長 (代理)
- 委 員 東京都 交通局 バス事業経営改善担当部長
- 委 員 警視庁 交通部 交通規制課長 (代理)
- 委 員 中央区 環境土木部長
- 委 員 杉並区 都市整備部長
- 委 員 多摩市 都市整備部長
- 委 員 奥多摩町 企画財政課長
- 委 員 一般社団法人 日本自動車工業会 2020 対応検討会主査
- 委 員 特定非営利活動法人 ITS JAPAN 常務理事 (欠席)
- 事務局 東京都 都市整備局 都市基盤部 交通企画課